

第 25 回兵庫県医療審議会保健医療計画部会 議事概要

- 日 時：平成 29 年 8 月 30 日(水) 16:00～17:30
- 場 所：兵庫県医師会館 6 階会議室
- 出席委員：足立 光平 (兵庫県医師会副会長)
笠井 利雄 (全国健康保険協会兵庫支部長)
守殿 貞夫 (兵庫県病院協会会長)
北野 美智子 (兵庫県連合婦人会会長)
長尾 卓夫 (兵庫県精神科病院協会会長)
太城 力良 (兵庫医科大学副理事長)
中野 則子 (兵庫県看護協会会長)
西 昂 (兵庫県民間病院協会副会長)
浜上 勇人 (兵庫県町村会理事・香美町長)
渡部 武 (兵庫県歯科医師会副会長)
- 欠席委員：笠井 秀一 (兵庫県薬剤師会会長)
西尾 久英 (神戸大学大学院医学研究科教授)
藤澤 正人 (神戸大学医学部附属病院長)
丸尾 猛 (県立こども病院名誉院長)

● 次 第

1 開 会

2 兵庫県健康福祉部長あいさつ

3 議事と結果

(1) 協議事項

①保健医療計画の改定について

現行の兵庫県保健医療計画 (H25.4 告示) が改定期限を迎えるため、H30.4.1 改定に向けてポイント等を別添資料 1-1 で説明。

地域完結型医療の実現のため、圏域を超えた連携体制が必要な圏域があることから、「中+西播磨」「阪神南+北」の統合を行うといった、2次保健医療圏域の設定について別添資料 1-2 により説明。

保健医療計画改定のスケジュールについて、計画本編は予定通り H30.3 までに改定し、圏域編の改定は H30 年度中盤に延期することを別添資料 1-3 により説明。

5 疾病 5 事業及び在宅医療に係る医療連携体制について実効性のある医療提供体制の構築を推進するといった指針、基本方針、新たな視点、記載する項目等についての概要を別添資料 1-4-1, 2 により説明。

兵庫県保健医療計画と老人福祉計画 (介護保険事業支援計画) の整合性の確保と新たに生じるサービス量の考え方を別添資料 1-5 により説明。

事務局の説明に対し、審議を行い、次回の保健医療計画までに本日の意見や、

関係団体等の意見を参考に、事務局案を作成し、提示することになった。

②病床機能転換推進事業について

H28 年度病床機能報告がまとまったので、前年度結果や将来推計等と比較しながら別添資料 2-1 により説明。

平成 29 年度の補助予定施設（5 件）について、事業内容を説明。別添資料 2-2 により審議を行い、補助申請（5 件）は妥当との結論を得た。

（2）報告事項

①特例診療所の事前協議書の取下げについて

平成 29 年 3 月 29 日の保健医療部会で、事前協議のあった 3 カ所の特例診療所について、保健医療計画に記載することをご了解いただいたが、保健医療計画への記載前に、一診療所から事前協議書の取下げがあったことから、別添資料 3 により事務局から報告を行った。

4 議事内容

○議事（1）①について

委員： 「中+西播磨」「阪神南+北」の統合を行うと、地域医療構想調整会議において、積極的に指導していくような人材がいなければ、広い圏域をまとめることは難しいのではないかと。早く準備を進めた方がよい。

事務局： 圏域の重点推進施策については、今年度中は難しいので来年度中に策定していく予定である。協議の場であるので関係団体からの積極的な発言を期待したい。組織体制の検討も必要であるが、両圏域で共同で準備を行う。事務局を立ち上げる等対応を検討したい。

委員： 圏域の統合により保健所はどうなっていくのか。

事務局： どの保健所が中心的な役割をしていくのはこれから調整していく。

委員： 圏域の統合については、各圏域に情報はいつているのか。

事務局： 本日の会議で初めて提案する情報のため、今後、各健康福祉事務所と本県で打合せ等を行い、検討スケジュール等はつめていく。

○議事（1）②について

委員： 急性期と回復期の定義そのもののあり方も検討していく必要がある。

以上